

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 9 月 4 日(2024.9.4)

【公開番号】特開 2023-43440(P2023-43440A)  
【公開日】令和 5 年 3 月 29 日(2023.3.29)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-058  
【出願番号】特願 2021-151083(P2021-151083)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 8 月 27 日(2024.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
可動体と、

表示演出制御手段と、

演出制御手段と、

可動体制御手段と、を備え、

前記可動体制御手段は、電源投入がされた場合、前記可動体が正常に動作することを確認  
するための動作により該可動体を動作させる確認動作制御を行うことが可能であり、 30

前記演出制御手段は、特定の可変表示パターンに基づく可変表示中において、遊技者に  
動作を促す動作促進演出を行うことが可能であり、

前記特定の可変表示パターンは、

前記動作促進演出が実行されるまでの第 1 パートと、

前記第 1 パートの後に実行され、前記動作促進演出の結果が報知される第 2 パートと、  
を含んで構成され、

前記可動体制御手段は、

前記可動体を第 1 期間動作させる第 1 動作制御パターンと、前記可動体を前記第 1 期  
間よりも短い第 2 期間動作させる第 2 動作制御パターンと、で前記確認動作制御を行うこ  
とが可能であり、 40

前記特定の可変表示パターンに基づく可変表示が開始される前の可変表示の終了直前  
に電断が発生し、その後、電源投入がされた場合、前記特定の可変表示パターンに基づく  
可変表示の実行中において前記第 2 可動制御パターンで前記確認動作制御を行って前記第  
2 パートが開始されるよりも前に前記確認動作制御が終了するように前記可動体の制御を  
行うことが可能であり、

前記可動体には発光手段が設けられ、

遊技者の調整操作に基づいて前記発光手段の輝度を変更可能であり、

前記確認動作制御中において前記発光手段を特定態様とする特定発光制御を実行可能で  
あり、

50

前記調整操作が行われても、前記特定発光制御中の前記発光手段の輝度を変更しない、  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

(１)可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
可動体と、

10

表示演出制御手段と、

演出制御手段と、

可動体制御手段と、を備え、

前記可動体制御手段は、電源投入がされた場合、前記可動体が正常に動作することを確認  
するための動作により該可動体を動作させる確認動作制御を行うことが可能であり、

前記演出制御手段は、特定の可変表示パターンに基づく可変表示中において、遊技者に  
動作を促す動作促進演出を行うことが可能であり、

前記特定の可変表示パターンは、

前記動作促進演出が実行されるまでの第１パートと、

前記第１パートの後に実行され、前記動作促進演出の結果が報知される第２パートと、

20

を含んで構成され、

前記可動体制御手段は、

前記可動体を第１期間動作させる第１動作制御パターンと、前記可動体を前記第１期  
間よりも短い第２期間動作させる第２動作制御パターンと、で前記確認動作制御を行うこ  
とが可能であり、

前記特定の可変表示パターンに基づく可変表示が開始される前の可変表示の終了直前  
に電断が発生し、その後、電源投入がされた場合、前記特定の可変表示パターンに基づく  
可変表示の実行中において前記第２可動制御パターンで前記確認動作制御を行って前記第  
２パートが開始されるよりも前に前記確認動作制御が終了するように前記可動体の制御を  
行うことが可能であり、

30

前記可動体には発光手段が設けられ、

遊技者の調整操作に基づいて前記発光手段の輝度を変更可能であり、

前記確認動作制御中において前記発光手段を特定態様とする特定発光制御を実行可能で  
あり、

前記調整操作が行われても、前記特定発光制御中の前記発光手段の輝度を変更しない、  
ことを特徴とする。

40

50